

ながおとうげ こじりとうげ 長尾峠—湖尻峠コース



歩いて、未病を改善！ 箱根町 No.48
神奈川県・県西地域ウォーキング

芦ノ湖を一望できる絶景ポイントで休憩しながら歩こう！



アクセス

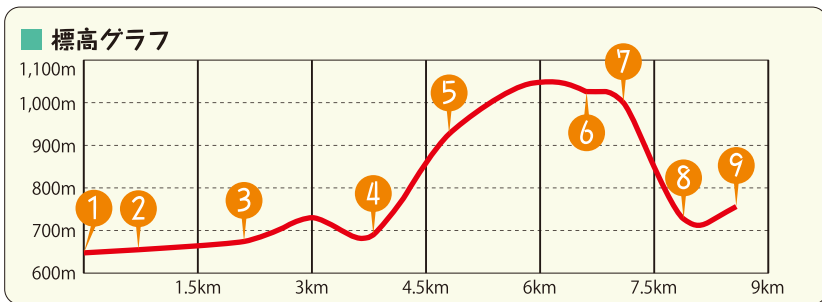
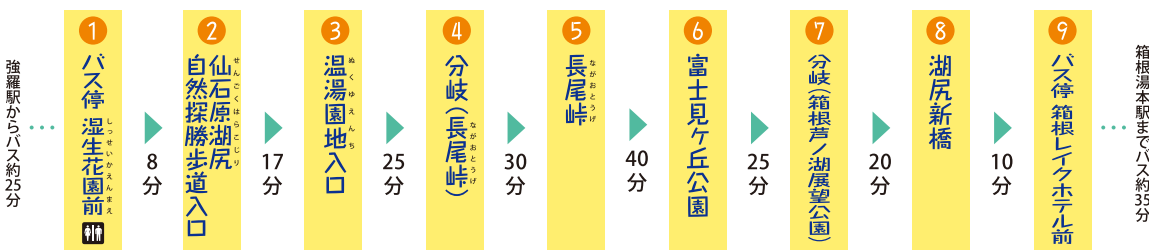
- S スタート** 箱根登山バス「湿生花園前」
箱根登山鉄道「強羅駅」から約25分
- G ゴール** 箱根登山バス「箱根レイクホテル前」
箱根登山鉄道「箱根湯本駅」まで約35分

※箱根町観光協会のホームページ <https://www.hakone.or.jp/>
※富士箱根伊豆国立公園 箱根地域内における歩道利用ガイドライン <https://www.hakone.or.jp/6394>

歩行距離	歩行時間	消費カロリー
8.6km	2時間55分	640kcal
高低差	歩数	
375.8m	11,242歩	

コースの魅力

- 【花木】** マメザクラ、コブシ(4月下旬)
- 【景観】** 展望公園から望む芦ノ湖
- 【歴史】** 耕牧舎跡



コースの概要

早川沿いの気持ち良い道や、ジオサイトに登録されている「長尾峠」を通って芦ノ湖へ出るコース。「神山」や「冠ヶ岳」を望むことができ、約3000年前の神山の山体崩壊で崩れた土砂が堰き止められて芦ノ湖がつくられたことがよくわかります。ゴール近くは集団施設地区に指定されており、ビジターセンターや花の広場、キャンプ場などがあるエリアとなっています。

ひと足のばしてみよう!



仙石原湿原

箱根カルデラの中には、かつては仙石原湖と呼ばれた湖がありましたが、約2.2万年前の神山の噴火により湖が2つに分断され、仙石原側が湿原化して現在の姿となりました。箱根湿生花園では、湿原に生育する植物を観察することができます。仙石原の名の由来は、源頼朝が「この地を拓けば千石ほどの米が獲れよう」と言ったことにあります。



箱根火山の地質を楽しもう!



長尾峠

箱根外輪山を貫くトンネル出口付近からは、正面に神山と冠ヶ岳が見えます。神山の麓から手前のゴルフ場にかけて見られるハマグリを伏せたような地形は、約3000年前の神山の崩壊でできたものです。長尾峠から県道を東に向かうと、溶岩流がカルデラ内側に向かって流れている崖があります。箱根火山の形成史の見直しのきっかけとなった崖です。



※歩行距離、高低差、標高グラフは、国土院の地図データを参照。歩行時間、消費カロリー、歩数は、「成人男性：身長170cm、体重68kg」をモデルに計算。(元となる標高データの精度や計算方法による誤差が含まれています) ※各数値は、あくまで目安であり、年齢や体格、歩くスピードなどにより大きく変わることがあります。 ※掲載情報は、令和2年2月現在のものです。

ウォーキングMAP

- ルールとアドバイス**
- 1 ゴミは必ず持ち帰りましょう
 - 2 植物・鳥・動物・虫などの採取・捕獲は絶対にやめましょう
 - 3 自分に合った歩きやすい靴をはきましよう
 - 4 水分の補給をこまめにしましよう
 - 5 日没までに下山できる余裕のある計画にしましよう
 - 6 山の天気は急変するので、レインウエアを持っていましよう



ジオサイトって?
 箱根火山を中心とした地域の自然や歴史、文化、食などを大地とのつながりを楽しむ「箱根ジオパーク」の見どころです。

一面焼け野原も見ものです

すすき草原の山焼き

すすき草原の景観を維持するために、昭和60年代から行われています。春の到来を前に、台ヶ岳の平地や上部に火入れをし、炎が広がっていく様子を見ることができます。当日は午前10時頃から夕方まで「すすき草原」の沿道が通行止めになり、夕方には台ヶ岳は黒一面となりますが、山焼きのお陰で秋には黄金色のススキを見ることができるのです。



箱根火山の地形を楽しもう!

芦ノ湖

芦ノ湖が現在の姿になったのは、約3000年前と考えられています。湖の西側は箱根外輪山の内側のカルデラをつくる急峻な地形が、東側には神山や駒ヶ岳の溶岩流の地形が見られます。湖に棲む九頭龍を、箱根権現を開いた萬巻上人が鎮めたと伝えられています。それ以後、芦ノ湖は箱根神社の御手洗池として利用されてきました。



「未病」を改善すれば、人生はもっと楽しめる。
 「かながわ県西地域」で未病を改善!!